



福西会病院 広報誌

ふれあい

FUREAI

Fukuseikai Hospital
Public relations magazine

Vol.63

ご自由にお持ち帰り
ください



特集

看護部のお仕事

home page



看護部のお仕事

病棟

病棟は、患者さんが治療を受ける場所であり、生活する場でもあります。私たち病棟看護師は、入院患者さんの日常生活を支援するため、患者さんに合わせたケアを提供できるよう心がけています。患者さんやご家族に不安なく入院生活を送っていただけるよう、医療チームだけでなく地域の方々とも協力し(多職種連携)在宅復帰に向けた支援を行っています。4つの病棟のうち4.5.6階は、急性期病棟、3階は、地域包括ケア病棟の機能を担っています。急性期病棟は、手術や処置、全身管理が必要な患者さんが入院されています。地域包括ケア病棟は、地域から直接入院された患者さんや急性期の治療が一段落した患者さんなどが入院されており、継続的なリハビリテーションや在宅復帰に向けての支援を行っています。

病棟では、看護師だけでなく看護補助者(ナースエイド)も看護チームの一員として24時間働いています。看護部では、看護補助者を「エイドさん」と呼んでいます。シフト交換から日常生活援助まで看護師の活動を支えるなくてはならない存在です。



[病棟の一日の流れ]

業務形態は8:30~17:00までの日勤業務と16:30~翌9:00までの夜勤業務の2交代制です

<p>8:30~ 10:00~ 12:00~ 13:30~ 14:00~ 16:45~</p>	<p>入院患者さんの状態把握、 申し送り</p> <p>検温、点滴、環境整備、 清潔ケアなど</p> <p>昼食の準備 配膳・口腔ケア・下膳 看護師やエイドで移乗し 食事の準備を行います。</p> <p>早期回復、退院に向けたカンファレンスを 多職種(医師、看護師、リハビリスタッフ、 医療ソーシャルワーカー、 薬剤師、栄養士)で 行っています。</p> <p>入院患者さんの状態観察やおむつ交換、 処置などを行っています。</p> <p>日勤から夜勤へ申し送り</p>	<p>17:00~ 18:00~ 19:00~ 21:00 24:00 6:00 8:00 8:45~ 9:00</p>	<p>日勤業務が終了し、夜勤へ交代します。</p> <p>夕食の準備、トイレ誘導、 配膳・口腔ケア・下膳</p> <p>おむつ使用患者さんなどの おむつ交換や体位変換</p> <p>眠前薬などの投与、消灯</p> <p>夜間2時間おきのラウンド・ 重症患者さんの検温・点滴・医療機器などの管理</p> <p>検温・採血・手術準備など</p> <p>朝食の準備、トイレ誘導、 配膳・口腔ケア・下膳</p> <p>夜勤から日勤へ申し送り</p> <p>夜勤業務終了</p>
---	---	--	--

外来

外来は、一般診察、救急外来、検査・内視鏡、入院フロント、在宅診療の5つに分かれています。活動範囲は、1階、2階のフロア全体と大変広いため看護師だけでなく、外来クラークや看護補助者とも協力し、できるだけスムーズな診察や処置、検査を心がけています。また、外来看護師は、緊急処置(心臓カテーテル検査や内視鏡検査)にも対応しています。当院では、夜勤の外来看護師以外にこれらの検査に対応する看護師がオンコール体制で備えています。外来看護師は忙しく動きまわっており、ゆっくり話せる機会が少ないかもしれませんが、患者さんの在宅療養を支援する取り組みも行っています。自宅や施設の生活での困りごとや治療(お薬の飲み方等)に関する相談などがありましたら外来看護師にお声かけください。

[外来の一日の流れ]

<p>8:00 8:15 8:30 8:45</p>	<p>早出勤 採血室の準備</p> <p>採血室業務開始 採血の結果が出るまでは約1時間かかります。 9時から診察予約の患者さんは早くから並んで待っています。</p> <p>全体申し送り</p> <p>診察開始 当日の予約患者の中に、継続看護対象者がいる場合は、チーム内で情報共有、時間の調整を行い、家での生活状況、病状の変化を確認できるようにしています。 新患、予約外の患者さんが来られた際は患者さんの元に行き、検温や血圧測定を行いながら、重症度のトリアージを行います。トリアージ能力は、外来看護師には必須の能力です。 緊急入院が必要な患者さんは1日10名ほどおられます。入院前に患者さんの持ち物(入れ歯や補聴器、杖など)について、持ち物確認表を使って病棟の看護師へ申し送りをしています。</p>	<p>12:00 13:30 16:30 17:00</p>	<p>午前の受付終了</p> <p>午後の診察開始 症状に応じて、午後の担当の先生や専門の先生に相談して対応しています。 午後からは検査や処置の介助(心臓カテーテルや尿管結石破碎術)を行ったりしています。</p> <p>午後の受付終了 夜勤への引き継ぎを行います。</p> <p>夜間診療開始 夜勤は内科担当医と外科担当医各1名、看護師2名、放射線科1名、検査科1名、事務職員1名での当直体制です。夜も緊急の症状で受診される方、救急車で来られる患者さんの対応をしています。</p>
--	---	--	--

救急外来

当院は2次救急病院として年間3089件(2023年度)の救急車を受け入れ、365日24時間体制で、救急患者に対応しています。
受け入れの流れは、まず救急隊よりホットラインで電話を受け、救急患者の情報が伝えられます。その患者情報を元に、看護師は事前に必要な物品などの準備をします。救急車が到着すると、救急医、看護師で迅速な検査・処置を行い診断、治療方針を決めていきます。救急車が何台も続けてくる時や、重症患者が搬送されてくる時は慌ただしい雰囲気になりますが、軽症から重症まで多岐にわたる症例を経験できるため、仕事としてはとてもやりがいのある部署です。
これからも救急車で搬送される全ての患者さん、ご家族に安全・安心なチーム医療を提供できるよう努めていきます。

内視鏡センター

内視鏡センターで勤務する看護師は、内視鏡検査・処置の準備やサポートを行います。検査や処置がスムーズにできるよう、消化器領域や内視鏡に関する専門的な知識や、医師・臨床工学技士など他職種との連携が求められます。
内視鏡センターの業務は外来業務に近いですが、専門性が高く、さまざまな業務をてきぱきとこなしていく能力が求められます。患者さんの中には内視鏡検査・手術への恐怖心や不安感を抱いている方も少なくありません。検査前後の対応や介助などを丁寧に行うことで、患者さんに安心して検査・治療をうけてもらえるようにするのも看護師の大切な役割です。

当院内視鏡センターのスタッフ構成は?

- 医師 約10名
- 看護師 10名 ※うち日本消化器内視鏡技師 2名
- ナースエイド 1名
- 臨床工学技士 1名
- ドクターアシスタント 1名



当院内視鏡センターでは大腸の病変候補検出をリアルタイムに行うAI(人工知能)内視鏡システム導入により、腫瘍が良性か悪性かをより正確に判別できるようになりました。

手術室

手術室には、看護師15名、看護補助者3名が在籍しています。手術室看護師の役割は、手術中の直接介助(いわゆる「メス!」と言われ渡す姿)に注目されがちですが、実際は、手術前から手術後まで患者さんに関わっています。

◎手術前訪問

手術前の患者さんのお部屋に訪問し、手術室入室後から退室までの一連の流れを説明するとともに手術に対する心配ごとを伺い不安の軽減に努めています。

◎手術当日

手術前は、病棟看護師から患者さんの状態引継ぎを受けます。手術中は、手術ごとに2名の看護師がペアとなり協力して手術介助を行っています。手術後は、病棟看護師に手術中の状態や術後気を付けてほしい点を引き継ぎます。



◎手術後訪問

再び患者さんのお部屋を訪問し、手術後の状態確認や患者さんからお話を伺うことで術中看護の評価を行っています。手術は、誰もが不安を抱くものだと思います。手術への不安がありましたら、病棟看護師だけでなく手術室看護師にもご相談ください。

入院フロント

入院フロントでは、看護師と外来クラークが役割分担し入院前(または入院時)の支援を行っています。入院は、予定入院、緊急入院にかかわらずいろいろな不安を感じるものだと思います。患者さんだけでなくご家族にも安心していただけるよう、お話を伺いながら入院の手続きや入院生活のご案内を行っています。

また、予定入院の患者さんには、事前に生活状況を確認し、入院生活のリスク評価や療養支援計画を作成しています。これらは、入院時に病棟看護師が看護計画に展開し、入院初期からのスムーズな看護ケア提供につながっています。

入院手続きや入院生活に関するご質問がございましたら入院フロントへお声かけください。



入退院支援センター

前方支援看護師 1名
社会福祉士 1名

対面面会、洗濯物の受け渡しその他ご相談等
あれば入退院支援センターまで

入退院支援センターは、1階エレベーター前の大きなコスモスの絵の前にあります。地域の病院や介護施設、クリニックからの診察依頼や入院依頼に看護師と社会福祉士で対応しています。依頼内容に応じて担当診療科の医師や救急医、外来師長と協力し、患者さんの受け入れ態勢を整えます。紹介される患者さんの状態は様々なので、重症度や緊急性に応じて紹介元とも連携し、スムーズな受け入れや速やかな検査、治療につながるよう心がけています。

また、入退院支援センターは、当院に病状説明や面会、退院のお迎えなどでお越しになるご家族の対応窓口でもあります。できるだけお待たせしないよう病棟との連携に努めています。

この他にも入退院支援センターでは、療養生活や介護等に関する相談をお受けすることができますので、お困りの際は、お声かけください。



【いろいろな働き方】看護部では、ライフイベントに対応しながらいろいろな働き方で職員が活躍しています。

時間短縮勤務

育児休業復帰後、9時～16時の7時間勤務で家事・育児と仕事の両立に励んでいます。

パート

子育てや介護などWLB(ワークライフバランス)に応じて勤務可能な時間に活躍しています。

嘱託

人生100年時代!定年後もプラチナナース、プラチナエイドとして多くの部署で活躍しています。

派遣

勤務シフトは、人それぞれです。ライフスタイルに合わせたシフトで就業し即戦力として活躍しています。

看護部教育体制について

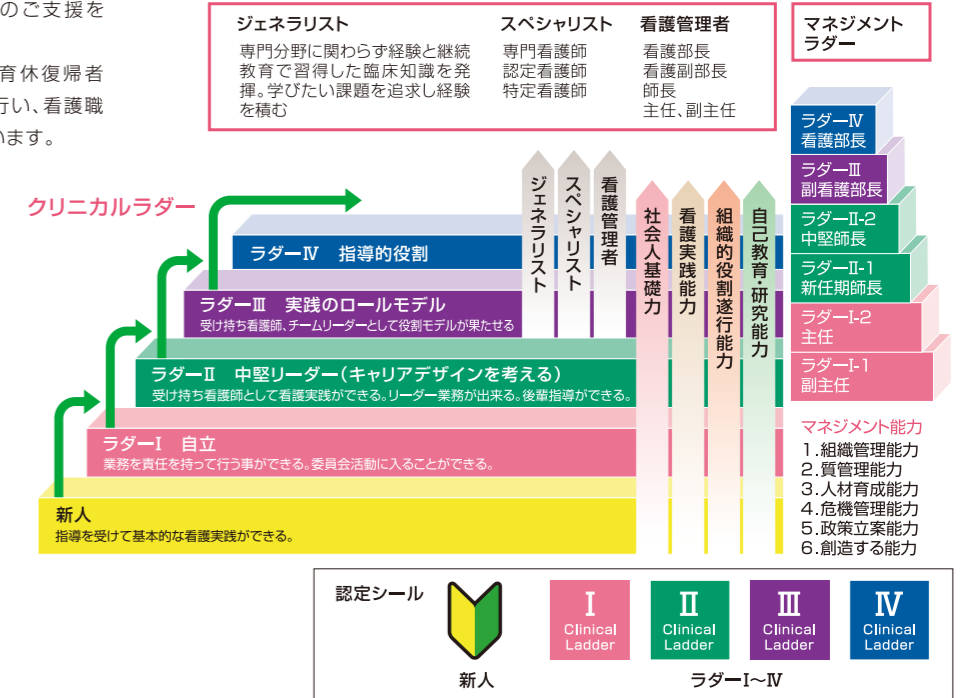
看護部では、「つなげる看護」を理念に、専門性を発揮し、患者さん中心の看護を提供できる看護師の育成を目標に教育を行っています。教育体系として、臨床的ラダー制度(*図参照)を導入し、新人から中堅・達人と呼ばれるレベルまで臨床実践能力を5段階に分けて、レベル毎に研修を行っています。

ラダー研修は、患者さんの安全・安心を守るために中心となる医療安全や感染管理、褥瘡対策管理、業務改善(看護研究)をはじめ、患者さんの意志決定を支援し、患者さんが望む場所で不安なく生活できるような退院支援に関して、基礎から応用までを段階的に学ぶ内容となっています。

ラダー研修への参加は本人の意志であり、ラダー研修を修了した看護師は、認定審査会で承認されると、ラダー認定証とラダー認定シールを授与され、各自の名札に認定シールを貼ります。もう一つのシールに初心者マークがありますが、これはその年の新卒看護師の印で最初の1年間だけ貼っています。まだまだ未熟ですので、皆さまのご支援をお願いします。

また、ラダー以外の研修は、中途採用者研修、育休復帰者研修、新人指導者研修、看護補助者研修等を適宜行い、看護職員全員が日々成長出来るような企画に取り組んでいます。

臨床的ラダーとマネジメントラダーの関連 概念図 2024年5月 改定



認定看護師について

認定看護師は、特定の分野で熟練した看護技術と知識を持ち高水準の看護実践を行います。その役割は、「実践・指導・相談」で、当院には、感染管理、皮膚・排泄ケア、緩和ケアの3分野3名が在籍しています。

◎感染管理認定看護師

感染管理に対する専門的な知識と技術を持ち、感染予防、感染状況の把握、感染管理の仕組みづくりをしています。

◎皮膚・排泄ケア認定看護師

「創傷」「ストーマ」「失禁ケア」分野において質の高い看護を提供し、褥瘡対策では、予防から褥瘡の処置まで組織横断的に関わっています。

◎緩和ケア認定看護師

疼痛などの身体的苦痛に対する症状をアセスメントし、患者さんとともに目標を設定し症状緩和に向けたケアを提供しています。

師長会からのメッセージ

看護部特集をお読みいただきありがとうございました。

ご覧いただきましたように、看護師はいろいろな部署で活動しており、看護補助者や多職種と協力し患者さんに必要なケアをお届けしています。看護師長会は、そのような看護の現場で起こる様々な問題や課題の解決に取り組んでいます。これからもより良い看護サービスを提供できるよう、より一層患者さんや職員の声に耳を傾け改善に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



腎センター（人工透析室） 看護部



透析看護師は医療に限らず介護や福祉に関する幅広い知識が求められます。看護師は新人・ベテランとキャリアにかかわらず、質の高い安全な透析療法を行うという1つの目標に向けて、日々取り組んでいます。

透析のベッドは50床あり、1日おき週3回の透析治療を午前月水金、午前火木土、夜間月水金と行い、現在約125名の透析患者さんが治療しています。昼間は2つのチーム、夜間は1つのチームで、各チームに1名リーダー看護師を配置。医師の指示を受けながら、患者さん5名につき看護師1名の体制で、透析開始から終了までを責任を持って担当しています。

【患者受け持ち制】

1名の看護師で4～7名の患者さんを受け持ちます。継続的なケア提供を行うために看護計画を立案し、食事・体重コントロールや服薬指導、シャント部管理・フットケアなどその患者さんに合った在宅での生活を患者さんと家族が無理なく管理できるよう支援を行います。そして、その支援を評価し次の課題に取り組みます。

【透析看護業務】

血液透析は血液を体内から取り出して、体外循環して透析を行い、体内に返血する侵襲性の高い治療です。看護師は患者さんの体重測定を行い、前回透析後からの体重の増減を確認します。医師の指示であるDW（ドラ

イウイト＝透析時基本体重）を基本に計算して、透析で水分や毒素などを除去する為の透析機器の設定を行います。臨床工学技士がシャント部に針を穿刺する介助を終えると透析開始です。透析中は全身状態の観察、バイタルサイン測定、低血圧・下肢攣縮・ショックなどの早期発見と透析治療の補助を行います。透析が終了すると、抜針後の止血と座位・立位の血圧安定を確認し、安全に帰宅可能かを医師と判断します。患者さんが帰宅された後はベッドメイキング、そして次の透析機器と回路の準備をします。

【PTA＝経皮的血管形成術・経皮的シャント拡張術治療の補助】

透析患者さんは透析導入時にシャント造設術（十分な血液量を確保できるよう動脈と静脈を接合する血管手術）を行い、透析は毎回シャント部より針を刺し治療を行います。そのシャントが狭くなったり、閉塞したりした時に行う治療がPTAです。PTAは放射線科透視室で造影を行いながら血管拡張治療を医師が行い、看護師はその介助や患者さんの状態観察を行います。

透析患者さんが満足した生活を送れるよう、日常生活から透析治療に至るまで私たち看護師は経験と知識を積み重ね、患者さんにやさしい透析室を目指しています。

職員インタビュー INTERVIEW



おがた まや
主任 緒方 麻耶さん

職歴 18年目

趣味 映画鑑賞

仕事に対して心がけていることややりがい

透析看護師の役割は、透析準備・透析中の患者さんの観察や健康管理・指導を行う事です。透析は患者さんにとって生涯必要になるため、患者さんとは長い付き合いになることが多く、時間をかけて関わることが出来ます。一生透析を続けていかなければならない患者さんやその家族に寄り添い、安心して透析を行い、日常生活が送れるよう援助することを心がけています。



つじ みやこ
副主任 辻 京さん

職歴 25年目

趣味 美味しいものを食べる事

仕事に対して心がけていることややりがい

透析看護は数年～数十年に渡り関わっていきます。その中で一番大切にしている事は、しっかりコミュニケーションを取って患者さんの気持ちを理解し寄り添い、信頼関係を築くことです。これからも安全・安心・安楽な透析が行えるよう努めていきます。



ひぐち かほ
副主任 樋口 香保さん

職歴 22年目

趣味 キャンプ

仕事に対して心がけていることややりがい

私は去年から、透析導入となった患者さんの支援に力を入れています。透析を始める患者さんの多くは、治療や生活に対する不安を抱えています。そこで、事前にパンフレットを使って説明を行ったり、話を聞いたりすることで少しでも不安を軽減し、スムーズに透析が導入できるよう努めています。患者さんとの信頼関係を築き、安心して治療に臨むサポートができたときにやりがいを感じます。

幅広い知識で、透析治療のサポートをはじめ看護計画に基づき患者さんのケアを行っています。

人員数
看護師24名
看護補助者1名
(2024年9月現在)

ケアセンターひまわり苑

01

ノーリフティングケアとは

介護される側・介護する側双方において安全で安心な、「抱え上げない」「引きずらない」「持ち上げない」ケアをノーリフティングケアと言います。職員の誰もが安心して安全に働ける職場作りとともに、利用者も安全で安心してケアを受けられる職場を作ることがノーリフティングケアの目的です。「業務の見直しを図り、誰もがひまわり苑で働きたい!と思える働き続けたい!職場を作りたい!」という一人の介護職員の声から始まったこの取り組み。ひまわり苑では、令和5年度の福岡県ノーリフティングケア普及事業にも参加しました。研修のたびに毎回、頭をフル回転させ「どうしたらわかりやすく職員みんなにノーリフティングケアの考え方や技術を伝えられるか」と介護や看護、リハビリ、事務が一丸となって奮闘中です。利用者の状態に合わせてスライディングボードや移乗用リフトなどを活用し、職員・利用者双方にとって身体に負担の掛からないケアを目指しております!



移乗用リフトでの研修の様子



移乗用ボードを使用時の介助指導

目標は、職員全員がノーリフティングケアを意識せず「抱え上げない」「引きずらない」「持ち上げない」ケアを実践する事ができ、施設全体で安心安全な職場環境を作り上げていく事です!



令和5年度ノーリフティングケア取組施設の認定を受け喜んでいるスタッフ

他院紹介

02

10月2日(水) のだクリニック開院

当院の消化器外科で15年間勤務されていました、野田尚孝先生が開業されましたので、紹介させていただきます。

福西会病院では長い間お世話になりました。

この度、福岡市早良区飯倉に「消化器科・内科・外科」のクリニックを開業しました。主におなかに関する諸症状、消化器疾患を専門とした診療を行います。肛門病や生活習慣病の他、風邪やインフルエンザ等、季節性の疾患まで幅広く診察します。

これまで培った技術や知識を十分に活かし、地域の皆さまの「かかりつけ医」として生き生きとした人生を過ごしていくお手伝いをさせていただきたいと思えます。

病气や健康についてご心配事がございましたらお気軽にご相談ください。

よろしくお願い申し上げます。



ためきのマークが目印です



あたたかみのある受付スペース



空気清浄機を設置した快適な待合スペース

院長 野田 尚孝

医学博士
日本外科学会専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
難病指定医

のだクリニック

〒814-0161 福岡市早良区飯倉6-22-31
TEL.092-834-7220 / 駐車場8台完備

NODA CLINIC





～運動するうえで必要な筋肉量について～



暑さも和らぎ過ごしやすい日が増えてきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、10月の祝日には「スポーツの日」がありますが、今回は「スポーツの秋」にちなみ、運動するうえで必要な筋肉量についてお話しします。

筋肉とは体をつくる組織の1つで、体を動かす、運動する、姿勢を保つ、内臓や血管の働きを支える、外部からの衝撃から体を守るなどの役割があります。

成長するにつれ筋肉の量は増えていきますが、25～30歳頃にピークを迎え、40歳頃より低下していきます。



サルコペニアという言葉をご存じでしょうか？

高齢になるに伴い、筋肉の量が減少し、筋力や身体機能が低下した状態のことを言います。筋肉量減少に加え、筋力低下(握力など)や身体機能の低下(歩行速度など)のいずれかが存在するとサルコペニアと診断されます。サルコペニアの主な要因は加齢ですが、運動不足や疾患、栄養不良も危険因子となります。サルコペニアになると、立ち上がりや歩行がだんだんとつらくなり、放置すると歩行困難にもなってしまうことから、高齢者の活動能力の低下の大きな原因となっています。

転びやすい



疲れやすい



歩くスピードが遅い



蓋が開けづらい



また、サルコペニア肥満という言葉もあります。体内の筋肉が脂肪に変わり、体脂肪が増加している状態を言います。これらのサルコペニアやサルコペニア肥満の予防には食事と運動が大切になってきます。

食事



- ◎3食をバランスよくしっかり摂る
- ◎体をつくるたんぱく質をしっかり摂る



運動



- ◎運動習慣を身につける
- ◎活動的な生活を送る



【サルコペニア対策】体をつくるたんぱく質を摂ることが大切です。

1日の摂取量は体重1kgあたり1.2～1.5g程度が目安です。つまり、体重が60kgの方であれば、毎日72～90g程度のたんぱく質を摂取する必要があります。また、たんぱく質は1食に偏らず、なるべく3食均等に摂ることが大切です。

ご自分の摂取量の目安を計算してみましょう。

1日たんぱく質摂取量
g

=

体重

kg

×

係数
1.2～1.5g

たんぱく質は…筋肉・血液など体をつくる

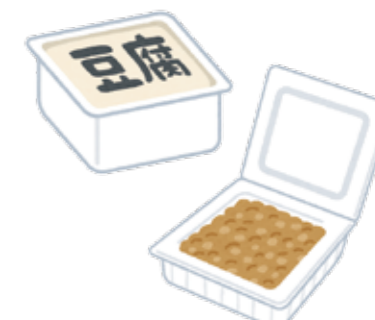
肉や魚介類、卵や大豆製品、牛乳や乳製品に多く含まれており、特に動物性食品には良質なたんぱく質を含みます。良質なたんぱく質とは人に欠かせないアミノ酸を多く含み、体の中で効率よく利用されるたんぱく質のことです。たんぱく質の種類には体の中で作られないものもあるため、食事から摂る必要があります。

たんぱく質を多く含む食品

動物性



植物性



他にも…ビタミンDは筋肉の成長を助け、カルシウムの吸収を良くする役割があります。(鮭、サンマ、干し椎茸、マイタケなどに多く含まれる)

最後に、たんぱく質を摂ることだけが大切というわけではありません。主食や副菜などもバランスよく摂ることが大切で、様々な食品摂取が体の機能を維持するのに重要です。また、腎機能や肝機能に疾患がある方は、たんぱく質の制限も必要な場合があるので、医師や管理栄養士の指示に従いましょう。

知るとうれしい リハビリニュース



[リハビリテーション科]

朝晩はめっきり寒くなって参りました。いかがお過ごしでしょうか。
さて、今回のリハビリニュースは『変形性膝関節症』についてお伝えしたいと思います。加齢・筋肉の衰え・体重増加によって膝の軟骨がすり減ったり、なくなったりして形が変形し、激しい痛みを生じる病気です。変形した膝関節を元に戻すのは難しいので、日常生活に支障をきたす症状が出る前に進行を止めることが大切です。

痛みなく生活を続けていくために、変形性膝関節症の予防についてお話します。

【膝関節の負担が大きくなる三大要因】

1 加齢

膝関節は骨と骨の間にある軟骨がクッションのような役割をして、スムーズに動くようになっています。ところが、加齢とともに軟骨がすり減ると、滑らかな動きが阻害されるため炎症を起こしてしまいます。

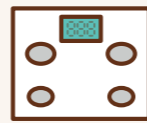
2 筋肉の衰え

脚を支えている筋肉が衰えると、体の重みを受ける部分が不安定になることで、膝への負担が大きくなり痛みを生じます。



3 体重の増加

体重が増えるほど膝にかかる負担も大きくなります。中高年になると運動不足や過食で内臓脂肪がつき、肥満になりやすいため注意が必要です。



【おすすめ膝痛予防】

☆ウォーキング

日ごろ運動不足の方は、軽いウォーキングから始めてみると良いでしょう。1日30分程度、週3回ぐらいから始めてみましょう。



☆自宅で行える簡単、膝運動

【タオル運動】

膝の下に丸めたタオルを置いて、膝を伸ばすようにしてタオルをつぶす運動です。息を吐きながら10秒間力を入れてタオルをつぶす動作を10回繰り返します。

【膝の曲げ伸ばし運動】

仰向けになった姿勢や座った姿勢で、片方ずつ膝の曲げ伸ばしをします。10秒間伸ばして下ろす動作を交互にゆっくり10~20回行います。



わ・た・し Channel

~職員の情報発信~ Vol.03

趣味や習慣、コレクション、人生を変えた本、最近ハマっているものetc.
“職員に関する何でも”を発信していくコーナーです。
職員たちの普段とは違う一面を垣間見ることで、より親しみを感じていただくと幸いです😊

看護師 それぞれの推し活！

釣り

6階病棟看護師
Oくん

休日のほとんどは遠賀川や柳川クreekでバスフィッシングをしています。大会で勝てるように日々プラクティスを繰り返して友人たちと切磋琢磨しています!!価値ある一本を求めて、日々のフィールドへ!!



宝塚歌劇

6階病棟看護師
Eさん

幼稚園の頃から宝塚歌劇が好きで今年で宝塚ファン歴26年になります。昨年の博多座公演で碧音斗和さん(愛称 あいりちゃん)に落ちました!あいりちゃんは歌やお芝居も上手ですが、一番はしなやかなダンスが魅力です。観劇に行くことが仕事の活力となっています!



なにわ男子 道枝くん

5階病棟看護師
Sさん

推しの好きなところは身長高く顔も羨ましいくらい整っていて、すごくメンバー思いなところ。コンサートが当たれば、どこでも追っかけて行きます。倍率が凄いので全部の公演毎回応募しています笑



アニメと作家

3階病棟看護師
Kさん&Tさん

私たちはアニメを見る事や、好きな作家の展示会に行くことが楽しみです。今年1月に福岡市博物館へHUNTER×HUNTERの富樫義博展に行きました。手書きの生原稿をたくさん見て、かなり細かなところまで描かれているシーンも圧巻でした。ここで言わせてください。富樫先生、感動をありがとう!



LINE公式アカウントを
開設いたしました



福西会病院からの各種ご案内等を中心にお届けいたしますので、ぜひお友達登録をお願いいたします。



アクセスはこちらから

幅広い
時間で
受診可能

午前・午後の
診療担当医のご案内

YouTubeチャンネルを
開設いたしました



楽しくてためになる動画を追加していきます。ぜひチャンネル登録をお願いいたします。



アクセスはこちらから

詳しくはホームページで検索

福西会病院

検索



交通アクセス

公共交通機関

地下鉄七隈線 野芥駅にて下車(2番出口すぐ)
西鉄バス 野芥駅前にて下車(降りてすぐ)

都市高速から

野芥ランプから 【内回り】福岡高速5号線・野芥ランプより、
外環状線を直進「野芥口」交差点を越え側道へ…約3分
【外回り】福岡高速5号線・野芥ランプより
外環状線を直進「野芥口」交差点右折……………約1分

福西会病院 パーキングマップ

福西会病院の駐車場は周辺に第1、第2、第5があります。
※地下駐車場は、廃止となりました。



医療理念

誠実で信頼される医療

基本方針

1. 救急病院として地域社会・地域医療に貢献します
2. 患者さんと共に安全・安心なチーム医療を行います
3. 積極的な医療・介護連携を目指します
4. 医療人として常に自己研鑽をします

患者さんの権利

1. 個人としての人権が尊重される権利
2. 質の高い医療を公平に受ける権利
3. 真実を知る権利、または、真実を知らされない権利
4. 病状や医療内容について、十分に説明を受ける権利
5. 医療行為を、自分の意思で選択する権利
(セカンドオピニオンを受ける権利)
ただし、医学的に不適切な医療を求める権利はありません。
6. 医療情報の開示を求める権利
7. 個人情報保護される権利

患者さんの責務

1. ご自身の状態やその変化など正確な情報を
医療従事者へ報告する責務
2. 治療に必要な医療上の指示を守る責務
3. 病院の規則を守り、快適な医療環境を維持する責務
 - 禁酒、禁煙
 - 他の患者さんへの迷惑行為の禁止
 - 職員への暴言・暴力・セクハラ・業務妨害などの禁止
4. 自己負担金を支払う責務



「健康経営」の促進を目的として、
優れた健康経営の取り組みを行っている事業所を
経済産業省が選定・認定する制度「健康経営優良法人」において、
当法人が4年連続で大規模法人部門に選ばれました。